

2025年度 学 習 指 導 計 画 表

京都長尾谷高等学校

〔科目名： 現 代 の 国 語 〕 〔単位数：2単位〕 〔使用教科書：『新編現代の国語』大修館〕 〔使用副読本：『新編現代の国語』学習ノート〕

学 期	授業回	項 目	教 科 書		副読本
			内 容	ページ	ページ
前 期	1	「『変わる』ことを楽しもう」	これからの学習に取り組みたいこと、興味のあることについて自分の考えを見つめ	P12～P15	P6～P7
	2	『文を整え、文をつなぐ』	文章の組み立てについて、気を付けるべきことと、文の整え方、文のつなぎ方を学	P32～P35	P18～P21
	3	「病院は『繁栄』するのか」	言葉についてさまざまな角度から考え、言葉を適切に活用する力をつけよう。	P41	P25
	4	『商品と贈り物の違い』	対比関係を意識しながら読む。	P89～P92	P58～61
	5	『対話のレッスン』	相手や場面に配慮した言葉遣いや表現のしかたを知る。	P120～P123	P74～P75
	6	「人間だけが『話し合い』を選べる」	コミュニケーションのヒントをつかみ、周りの人たちと向き合う。	P132～P133	P79～P80
	7	『情報の力関係』	図との関係に注意しながら、文章を読み取る。	P156～P159	P96～P97
	8	『相手を動かす依頼文を書こう』	内容を上手に伝え、了承してもらえるような依頼文の書き方を学ぶ。	P190～P196	
	9	『パン屋の手紙』	依頼文の実例を読み、依頼文の重要性を知る。	P197～P199	P108～P109
	10	1～6回目の復習や理解を深める授業内容とする。			
	11				
	12				

レポ ー ト			
前／後	回	課 題 内 容	締切日
前 半	1	・「『変わる』ことを楽しもう」	5/8
	2	・『文を整え、文をつなぐ』 ・「病院は『繁栄』するのか」	
	3	・『商品と贈り物の違い』	
後 半	4	・『対話のレッスン』 ・「人間だけが『話し合い』を選べる」	6/5
	5	・『情報の力関係』	
	6	・『相手を動かす依頼文を書こう』 ・『パン屋の手紙』	

2025年度 学 習 指 導 計 画 表

京都長尾谷高等学校

〔 科 目 名 : 言 語 文 化 〕 〔 単 位 数 : 2 単 位 〕 〔 使 用 教 科 書 : 新 編 言 語 (東 京 書 籍) 〕 〔 使 用 副 読 本 : 新 編 言 語 文 化 学 習 ノ ー ト (東 京 書 籍) 〕

学 期	授業回	項 目	教 科 書		副読本
			内 容	ページ	ページ
後 期	1	『さくらさくら』	随筆とは何かを学び、作品に触れ、筆 考えなどを読み取る。	P10-17	P4-8
	2	『とんかつ』	作品に触れ、登場人物や誰の視点で描 ているかなどを考え理解を深める。	P24-35	P12-15
	3	『柳あをめる』	言葉のリズムや響きを通じて、深い情	P50-52	P19-21
		『冬が来た』	発見を表現することを身に付ける。	P58-59	P25
	4	『夢十夜』	夏目漱石への理解を深め、近代文学へ 興味・関心を深めていく。	P94-103	P33-36
	5	『児のそら寝』	古典入門として、古文の読み方等理解 深める。	P122-123	P48-55
	6	『漢文入門』	漢文の読み方など理解を深める。	P209-215	P96-97
	7	『五十歩百歩』	漢文のルールなどを理解を深めた上 故事成語を読み解いていく。	P222	P102-103
	8	復習			
	9				
	10				
	11				
	12				

レ ポ ー ト			
前／後	回	課 題 内 容	締切日
前 半	1	『さくらさくら』	5/8
	2	『とんかつ』	
	3	『柳あをめる』 『冬が来た』	
後 半	4	『夢十夜』	6/5
	5	『児のそら寝』	
	6	『漢文入門』 『五十歩百歩』	

2025年度 学 習 指 導 計 画 表

京都長尾谷高等学校

〔 科 目 名 : 論 理 国 語 a 〕 〔 単 位 数 : 2 単 位 〕 〔 使 用 教 科 書 : 新 編 論 理 国 語 (大 修 館 書 店) 〕 〔 使 用 副 読 本 : 新 編 論 理 国 語 ワークブック (大 修 館 書 店) 〕

学 期	授業回	項 目	教 科 書		副読本
			内 容	ページ	ページ
前	1	知の登山、知の水路	「学ぶこと」について筆者の考えを読み取り、な	12～17	6～9
		汐見稔幸	ぜ学ぶのかということを考え視野を広げる。		
	2	ウサギの耳はなぜ長い？	筆者の主張を正確に読み取り、文章の	32～41	20～23
		上田恵介	をつかむ。		
	3	対話の精神	言葉は、言葉そのもの江尾認識したり	58～66	34～37
		平田オリザ	したりする働きがあることを理解す		
期	4	人口の自然	文章の構成や展開のしかたに注目しな	82～88	48～51
		坂村健	ら、筆者の主張を読み取る。		
	5	量の時代から質の時代へ	様々な統計資料を本文と関連付けなが	114～117	68～71
		甲斐かおり	読む。		
	6	紙の本はなくなるならない	異なる立場の文章を比べて読み、考え	130～137	82～85
		内田樹	深める。		
	7				
	8				
	9				
	10				
	11				
	12				

レ ポ ー ト			
前／後	回	課 題 内 容	締切日
前 半	1	「知の登山、知の水路」	5/8
	2	「ウサギの耳はなぜ長い？」	
	3	「対話の精神」	
後 半	4	「人口の自然」	6/5
	5	「量の時代から質の時代」	
	6	「紙の本はなくなるならない」	

2025年度 学 習 指 導 計 画 表

京都長尾谷高等学校

〔 科 目 名 : 文 学 国 語 a 〕 〔 単 位 数 : 2 単 位 〕 〔 使 用 教 科 書 : 新 編 文 学 国 語 (大 修 館 書 店) 〕 〔 使 用 副 読 本 : 新 編 文 学 国 語 学 習 ノ ー ト (大 修 館 書 店) 〕

学 期	授業回	項 目	教 科 書		副読本
			内 容	ページ	ページ
前	1	「そとみとなかみ」角田光	・文章の種類を踏まえ、内容や構成、 開、描写の仕方を的確に捉える。	27～33	16～19
	2	「児の飴食ひたること」沙石集 「永訣の朝」宮沢賢治	・文学的文章やその種類、特徴などに て理解を深める。	72～73 80～81	35 40～41
	3	「山月記」中島敦	・作品に興味を持ち、小説の文体や登 人物の心情を読み取る。	90～109	44～47
	4	「神去なあなあ日常」 三浦しをん	・登場人物の描写から場面ごとの心情 読み取る。	120～133	54～57
	5	「はしたなきもの」枕草子 「行く河の流れ」方丈記	・文学的文章やその種類、特徴などに て理解を深める。	178 180～181	78 80～81
	6	「さくら日和」辻村深月	・登場人物の描写から場面ごとの心情 読み取る。	184～195	82～85
期	7	以降の授業は適宜復習と発 の内容を行う。			
	8				
	9				
	10				
	11				
	12				

レ ポ ー ト			
前／後	回	課 題 内 容	締切日
前 半	1	「そとみとなかみ」角田光代 ・本文の内容理解	5/8
	2	「児の飴食ひたること」沙石集 「永訣の朝」宮沢賢治 ・本文の内容理解	
	3	「山月記」中島敦 ・本文の内容理解	
	4	「神去なあなあ日常」 三浦しをん ・本文の内容理解	
	5	「はしたなきもの」枕草子 「行く河の流れ」方丈記 ・本文の内容理解	
	6	「さくら日和」辻村深月 ・本文の内容理解	
後 半	7		6/5
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		

2025年度

学 習 指 導 計 画 表

京都長尾谷高等学校

〔科目名：漢字能力演習〕〔単位数：2単位〕〔使用教科書：なし〕〔使用副読本：漢検分野別問題集3級〕

学期	授業回	項目	教科書		副読本
			内 容	ページ	ページ
後 期	1	漢字能力演習の科目について	漢字能力検定の概要		
			漢字の成り立ちについて		
	2	漢字の読み	漢字の音読み・訓読みについて		P4～P41
	3	漢字の部首	部首の成り立ちについて		P42～P57
	4	熟語の理解	熟語の構成		P64～P75
			熟語の作成		
	5	漢字能力検定過去問模試①	漢字能力検定3級模試		
	6	対義語・類義語	漢字の対義語・類義語について		P76～P91
後 期	7	漢字能力検定過去問模試②	漢字能力検定3級模試		
	8	四字熟語	四字熟語の組み立てについて		P92～P107
	9	漢字能力検定過去問模試③	漢字能力検定3級模試		
後 期	10	同音・同訓異字	同音異字・同訓異字について		P120～P129
	11				
後 期	12				

レポ ー ト			
前／後	回	課 題 内 容	締切日
前 半	1	・音読み、訓読み ・漢字の部首 ・熟語の理解・構成	5/8
	2	・対義語・類義語 ・四字熟語 ・送りがな	
	3	・同音・同訓異字 ・漢字の書き取り	
後 半	4	・音読み、訓読み ・漢字の部首 ・熟語の理解・構成	6/5
	5	・対義語・類義語 ・四字熟語 ・送りがな	
	6	・同音・同訓異字 ・漢字の書き取り	

2025年度

学 習 指 導 計 画 表

京都長尾谷高等学校

〔科目名： 現代文特講 〕 〔単位数：2単位〕 〔使用教科書：指導者オリジナルプリント集 〕 〔 使 用 副 読 本 ： 〕

学 期	授業回	項 目	教 科 書		副読本
			内 容	ページ	ページ
前 期	1・2	大意をつかむ	上野千鶴子『うわの空』		
			梅原猛『思うままに』		
	3・4	筆者の意見を理解する	山本夏彦『夜は眠るためのものである』		
			大岡信『青き麦萌ゆ』		
	5・6	段落を分ける	河合雅雄『子どもと自然』		
			佐藤忠雄『忠臣蔵』		
	7・8	論理的文章と叙情的文章	中村桂子『日常語で科学が語れない』		
			日野啓三『此岸の家』		
	9・10	指示語に注目する	江藤淳『海舟余波』		
			内山節『時間についての十二章』		
	11・12	文脈を考え、空所を埋める	高橋義孝『蝶ネクタイとオムレツ』		
			亀井勝一郎『人生論集』		
後 期	13・14	難しい表現を通り過ぎない	「水尾比呂志の文章」		
			木村尚三郎『新しい対話の時代』		
	15・16	比喩の内容をつかむ	今西錦司『山』		
			小林秀雄『私の人生観』		
	17～20	自分の言葉で説明する	中井正一『一握の大理石の砂』		
			岸田秀『不惑の雑考』		

レポ ー ト			
前／後	回	課 題 内 容	締切日
前 半	1	梅原猛『思うままに』	5/8
	2	佐藤忠雄『忠臣蔵』	
	3	内山節『時間についての十二章』	
後 半	4	高橋義孝『蝶ネクタイとオムレツ』	6/5
	5	「水尾比呂志の文章」	
		木村尚三郎『新しい対話の時代』	
	6	今西錦司『山』	
		小林秀雄『私の人生観』	

2025年度

学 習 指 導 計 画 表

京都長尾谷高等学校

〔 科 目 名 : 古 典 特 講 〕 〔 単 位 数 : 4 単 位 〕 〔 使 用 教 科 書 : 指 導 者 オリジナルプリント集 〕 〔 使 用 副 読 本 : 〕

学 期	授業回	項 目	教 科 書		副読本
			内 容	ページ	ページ
前 期	1～4	文法練習	活用と活用形、動詞 一		
		長文読解	『土佐日記』		
	5～8	文法練習	動詞 二、形容詞・形容動詞		
		長文読解	『玉勝間』		
	9～12	文法練習	助動詞 一・二		
		長文読解	『古本説話集』		
	13～ 16	文法練習	助動詞 三・四		
		長文読解	『古今著聞集』		
	17～ 20	文法練習	助動詞 五・六		
		長文読解	『更級日記』		
	21～ 24	文法練習	助詞 一・二		
		長文読解	『堤中納言物語』		
	25～ 28	文法練習	助詞 三・四		
		長文読解	『源氏物語』		
	29～ 32	文法練習	助詞 五・六		
		長文読解	『曾我物語』		
	33～ 36	長文読解	『大鏡』		
			『大和物語』		
	37～ 40	長文読解	『平家物語』		
			『沙石集』		

レポ ー ト			
前／後	回	課 題 内 容	締切日
前 半	1	活用と活用形の種類	5/9
	2	助動詞	
	3	動詞、音便	
	4	助動詞	
	5	『更級日記』 『古本説話集』	
	6	『堤中納言物語』 『源氏物語』	
後 半	7	形容詞、形容動詞	6/6
	8	助動詞	
	9	推量の助動詞	
	10	助詞	
	11	『曾我物語』	
	12	『大鏡』	

2025年度

学 習 指 導 計 画 表

京都長尾谷高等学校

〔 科 目 名 : 地 理 総 合 〕 〔 単 位 数 : 2 単 位 〕 〔 使 用 教 科 書 : 東 京 書 籍 地 理 総 合 帝 国 書 院 標 準 高 等 地 図 〕

学 期	授業回	項 目	教 科 書		副読本
			内 容	ページ	ページ
前 期	1	第1編「地図や地理情報システムでとらえる現代世界」	第1章「私たちが暮らす世界」	5～25	地図帳
			第2章「地図や地理情報システムの役割」		適宜
	2	第1編「地図や地理情報システムでとらえる現代世界」	第2章「地図や地理情報システムの役割」	26～54	地図帳
			第3章「資料から読み取る現代世界」		適宜
	3	第2編「国際理解と国際協力」	1節「世界文化の多様性と国際理解」	55～77	地図帳
			2節「生活文化と自然環境①地形」		適宜
	4	第2編「国際理解と国際協力」	3節「生活文化と自然環境②気候」	78～91	地図帳
					適宜
	5	第2編「国際理解と国際協力」	4節「生活文化と産業」	92～129	地図帳
			1節「地球環境問題」		適宜
	6	第2編「国際理解と国際協力」	2節「資源・エネルギー問題」	130～141	地図帳
			3節「人口問題」		適宜
期	7	第2編「国際理解と国際協力」	4節「食糧問題」	142～149	地図帳
			5節「居住・都市問題」		適宜
	8	第2編「国際理解と国際協力」	6節「民族問題」	150～172	地図帳
			7節「持続可能な社会の実現をめざし」		適宜
	9	第3編「持続可能な地域づくりと私たち」	第1章「自然環境と防災」	173～185	地図帳
					適宜
期	10	第3編「持続可能な地域づくりと私たち」	第1章「自然環境と防災」	186～211	地図帳
			第2章「生活圏の調査と地域の展望」		適宜
	11				
期	12				

レ ポ ー ト			
前／後	回	課 題 内 容	締切日
前 半	1	私たちが暮らす世界	5/8
		地図や地理情報システムの役割	
	2	地図や地理情報システムの役割	
		資料から読み取る現代世界	
		生活文化の多様性と国際理解	
後 半	3	生活文化と自然環境①地形	6/5
		生活文化と自然環境②気候	
		生活文化と産業	
	4	地球環境問題	
		資源・エネルギー問題	
		人口問題、食糧問題	
期	5	民族問題	6/5
		持続可能な社会の実現をめざして	
		自然環境と防災	
	6	自然環境と防災	
		生活圏の調査と地域の展望	

2025年度 学 習 指 導 計 画 表

京都長尾谷高等学校

〔 科 目 名 : 歴 史 総 合 〕 〔 単 位 数 : 2 単 位 〕 〔 使 用 教 科 書 : 実 教 出 版 詳 述 歴 史 総 合 〕 〔 使 用 副 読 本 : な し 〕

学 期	授業回	項 目	教 科 書		副読本
			内 容	ページ	ページ
前 期	1	近代化への胎動	ヨーロッパの海外進出と市民社会	26～	
		欧米の市民革命と国民国家の形成			
	2	近代化への胎動	江戸時代の日本の対外政策	34～	
		欧米の市民革命と国民国家の形成			
	3	近代化への胎動	イギリス産業革命	44～	
		欧米の市民革命と国民国家の形成	アメリカ独立革命	46～	
	4	アジアの変容と日本の近代化	イスラーム世界の改革と再編	68～	
		帝国主義の時代	開国	76～	
	5	アジアの変容と日本の近代化	帝国主義と世界分割	98～	
		帝国主義の時代	日清戦争	104～	
	6	第一次世界大戦と大衆社会	緊迫する国際関係	126～	
		経済危機と第二次世界大戦			
期	7	第一次世界大戦と大衆社会	東アジア・東南アジアの民族運動	140～	
		経済危機と第二次世界大戦	世界恐慌	154～	
	8	第一次世界大戦と大衆社会	第二次世界大戦とアジア太平洋戦争	164～	
		経済危機と第二次世界大戦			
	9	冷戦と脱植民地化	冷戦対立の推移	196～	
		多極化する世界	米ソ両陣営の動揺	204～	
	10	冷戦と脱植民地化	石油危機と世界経済	214～	
		多極化する世界	日本の経済大国化	224～	
	11	グローバル化と現代社会	冷戦体制の終結	226～	
	12	グローバル化と現代社会	地域紛争と世界経済	228～	
			グローバルな認識へ	230～	

レ ポ ー ト			
前／後	回	課 題 内 容	締切日
前 半	1	江戸時代の日本の対外政策	5/8
		イギリス産業革命	
		アメリカ独立革命	
	2	開国	
		帝国主義と世界分割	
	3	日清戦争	
		日露戦争から韓国併合へ	
後 半	4	緊迫する国際関係	6/5
		ファシズムの時代	
		満州事変と軍部の台頭	
	5	世界恐慌	
		日中戦争	
		敗戦	
		国際連合と戦後世界	
	6	冷戦の開始	
		朝鮮戦争と日本	
		冷戦体制の終結	

2025年度 学 習 指 導 計 画 表

京都長尾谷高等学校

〔科目名： 日本史探究a 〕〔単位数：2単位〕〔使用教科書：山川出版社 高校日本史〕〔使用副読本： な し 〕

学 期	授業回	項 目	教 科 書		副読本
			内 容	ページ	ページ
前 期	1	第1章	日本文化の始まり	6～19	
		日本文化のあけぼの	農耕の開始		
	2	第2章	古墳文化の展開	20～28	
		古墳とヤマト政権	飛鳥の朝廷		
	3	第3章	律令国家への道	29～37	
		律令国家の形成	平城京の時代		
	4	第3章	律令国家の文化	38～47	
		律令国家の形成	律令国家の変容		
	5	第4章	摂関政治	48～54	
		貴族政治の展開	国風文化		
	6	第4章	荘園の発達と武士団の成長	55～59	
		貴族政治の展開			
期	7	第5章	院政の始まり	60～71	
		院政と武士の進出	院政と平氏政権		
	8	第6章	鎌倉幕府の成立と展開 鎌倉文化	72～85	
		武家政権の成立	モンゴル襲来と幕府の衰退		
	9	第7章	室町幕府の成立	86～97	
		武家社会の成長	下剋上の社会		
	10	第7章	室町文化	98～107	
		武家社会の成長	戦国の動乱		
	11	第8章	天下人の登場	108～121	
		近世の幕開け	室町政権と桃山文化		
	12				

レポ ー ト			
前／後	回	課 題 内 容	締切日
前 半	1	日本文化のあけぼの	5/8
		古墳とヤマト政権	
	2	律令国家の形成	
	3	貴族政治の展開	
後 半	4	院政と武士の進出	6/5
		武家政権の成立	
	5	武家社会の成長	
	6	近世の幕開け	

2025年度 学 習 指 導 計 画 表

京都長尾谷高等学校

〔科目名： 世界史探究a 〕〔単位数：2単位〕〔使用教科書：高校世界史 山川出版社〕〔使用副読本： な し 〕

学 期	授業回	項 目	教 科 書		副読本
			内 容	ページ	ページ
前 期	1	地球環境からみる人類の歴史	・ 人類の進化	P14	
			・ 人類と言語		
	2	文明の成立と古代文明の特質	・ 文明の誕生・古代オリエントとその周辺	P28	
			・ 南アジア、中国、南北アメリカの古代文明		
	3	中央ユーラシアと東アジア	・ 中央ユーラシア・秦、漢帝国	P42	
			・ 北方民族の活動と中国の分裂		
	4	東アジア世界②、南アジア・ 東南アジア世界の展開	・ 東アジア文化圏の形成・仏教の成立と南 アジアの統一国家・東南アジアの形成と展開	P55	
	5	西アジアと地中海周辺と 国家形成①	イラン諸国家の興亡とイラン文明 ・ ギリシャ世界・ローマと地中海支配	P62	
	6	地中海周辺の国家形成②	・ キリスト教の成立と発展	P77	
	7	イスラーム教の成立とヨー ロッパ世界の形成①	・ アラブの大征服とカリフ政権の成立	P79	
	8	イスラーム教の成立とヨー ロッパ世界の形成②	・ ヨーロッパ世界の形成①	P83	
	9	イスラーム教の成立とヨー ロッパ世界の形成③	・ ヨーロッパ世界の形成②	P94	
	10	イスラーム教の伝播と 西アジア	・ イスラーム教の諸地域への伝播 ・ 西アジアの動向	P97	
	11	ヨーロッパ世界の変容 と展開①	・ 西ヨーロッパの封建社会 ・ 東ヨーロッパ世界	P101	
	12	ヨーロッパ世界の変容 と展開②	西ヨーロッパ世界の変容 ・ 中世文化	P112	

レ ポ ー ト			
前/後	回	課 題 内 容	締切日
前 半	1	・ 自然環境と人類の進化 ・ 農耕と牧畜のはじまり ・ メソポタミアとエジプト統一国家 ・ 殷・周・春秋戦国時代の中国	5/8
	2	・ 突厥、ウイグル、ソグド人 について ・ 隋・唐王朝・古代インド 統一国家の展開	
	3	・ ボリスの成立・発展・内容 ・ ヘレニズム時代とローマ 共和政・キリスト教の迫害 から国教へ	
	4	・ アラブ軍による大征服 ・ シリアのカリフ政権 ・ アッバース朝の繁栄・ゲル マン人の移動とイスラーム	
	5	・ ローマ＝カトリック教会の 成長・カール大帝・分裂する フランク王国・中央アジアの イスラーム化	
	6	・ 封建社会と教皇権の衰退 ・ イギリスとフランス ・ 百年戦争とバウ戦	
後 半			6/5

2025年度 学 習 指 導 計 画 表

京都長尾谷高等学校

〔 科 目 名 : 公 共 〕 〔 単 位 数 : 2 単 位 〕 〔 使 用 教 科 書 : 数 研 出 版 「 公 共 」 〕 〔 使 用 副 読 本 : な し 〕

学 期	授業回	項 目	教 科 書		副読本
			内 容	ページ	ページ
前 期	1	民主社会の基本原理	政治と国家	58	
	2	日本社会の基本原理	日本国憲法の基本理念	66	
	3	同上	基本的人権	67	
	4	同上	平和主義	66	
	5	契約と消費者の権利	様々な契約	90	
	6	司法参加の意味	日本の司法制度・司法改革制度 裁判員制度	94	
期	7	戦後の国際情勢	東西対立 現代の紛争	118	
	8	日本の安全保障	憲法と自衛隊 防衛政策	126	
	9	経済の仕組みと産業	資本主義経済	144	
期	10	日本経済の歩み	日本資本主義経済の歩み	154	
	11	労働者の権利	労働三権 三法	156	
期	12	地球的課題	環境問題	42	

レ ポ ー ト			
前/後	回	課 題 内 容	締切日
前 半	1	宗教 自我	5/8
	2	民主社会 インターネットの功罪 基本的人権	
	3	契約 司法制度	
後 半	4	国際政治 東西対立	6/5
	5	経済のしくみ 資本主義	
	6	市場経済 国際経済	
期			

2025年度 学 習 指 導 計 画 表

京都長尾谷高等学校

〔 科 目 名 : 倫 理 〕 〔 単 位 数 : 2 単 位 〕 〔 使 用 教 科 書 : 東 京 書 籍 倫 理 〕 〔 使 用 副 読 本 : な し 〕

学 期	授業回	項 目	教 科 書		副読本
			内 容	ページ	ページ
前 期	1	人間の心のあり方	人間とは何か、人間の心の働き	7～23	
	2	さまざまな人生観・倫理観・世界観Ⅰ	哲学すること、ギリシャの思想	24～42	
	3	さまざまな人生観・倫理観・世界観Ⅰ	宗教と社会	43～57	
			キリスト教、イスラーム		
	4	さまざまな人生観・倫理観・世界観Ⅰ	仏教、中国の思想、芸術	58～81	
	5	さまざまな人生観・倫理観・世界観Ⅱ	近代と人間尊重の精神	82～99	
			近代思想の展開		
	6	さまざまな人生観・倫理観・世界観Ⅱ	人格の尊厳と人倫の思想	100～120	
			社会変革の思想、理性への疑念		
期	7	さまざまな人生観・倫理観・世界観Ⅱ	人間観・言語観の問いなおし	121～147	
			他者・自然とのかかわり		
	8	国際社会に生きる日本人としての自覚	日本人の精神風土、仏教と日本人の思想形成	148～176	
			儒教と日本人の思想形成、国学の思想		
	9	国際社会に生きる日本人としての自覚	庶民の思想、西洋思想と日本人の近代思想	177～205	
			国際社会に生きる日本人の自覚		
期	10	現代の諸課題と倫理	生命、自然、科学技術、福祉	206～235	
			文化と宗教、戦争と平和		
	11				
	12				

レ ポ ー ト			
前／後	回	課 題 内 容	締切日
前 半	1	人間の心のあり方	5/8
		さまざまな人生観・倫理観・世界観Ⅰ	
	2	さまざまな人生観・倫理観・世界観Ⅰ	
	3	さまざまな人生観・倫理観・世界観Ⅱ	
後 半	4	さまざまな人生観・倫理観・世界観Ⅱ	6/5
		国際社会に生きる日本人としての自覚	
	5	国際社会に生きる日本人としての自覚	
	6	現代の諸課題と倫理	

2025年度 学 習 指 導 計 画 表

京都長尾谷高等学校

〔 科 目 名 : 政 治 ・ 経 済 〕 〔 単 位 数 : 2 単 位 〕 〔 使 用 教 科 書 : 最 新 政 治 経 済 実 教 出 版 〕 〔 使 用 副 読 本 : な し 〕

学 期	授業回	項 目	教 科 書		副読本
			内 容	ページ	ページ
前 期	1	現代日本の政治	現代国家と民主政治	8～17	
	2	現代日本の政治	日本国憲法と基本的人権①	18～29	
	3	現代日本の政治	日本国憲法と基本的人権②	30～39	
	4	現代日本の政治	日本の政治制度と政治参加	40～55	
	5	現代の経済社会	現代の経済社会①	56～69	
	6	現代の経済社会	現代の経済社会②	70～83	
期	7	現代の経済社会	現代の日本経済と福祉向上	84～107	
	8	現代日本における諸課題の探究	日本経済のあゆみとこれから	108～119	
	9	現代の国際政治	国際政治の動向と課題	120～135	
期	10	現代の国際経済	国際経済理論	136～139	
	11	現代の国際経済	国際経済の動向と課題	140～153	
	12	国際社会における諸課題の探究	SDGsの実現に向けて	154～161	

レ ポ ー ト			
前／後	回	課 題 内 容	締切日
前 半	1	現代国家と民主政治	5/8
		日本国憲法と基本的人権①	
	2	日本国憲法と基本的人権②	
		日本の政治制度と政治参加	
	3	現代の経済社会①	
		現代の経済社会②	
後 半	4	現代の日本経済と福祉向上	6/5
		日本経済のあゆみとこれから	
	5	国際政治の動向と課題	
		国際経済理論	
	6	国際経済の動向と課題	
		SDGsの実現に向けて	

2025年度 学 習 指 導 計 画 表

京都長尾谷高等学校

〔 科 目 名 : 数 学 I 〕 〔 単 位 数 : 2 単 位 〕 〔 使 用 教 科 書 : 実 教 出 版 高 校 数 学 I 〕 〔 使 用 副 読 本 : な し 〕

学 期	授業回	項 目	教 科 書		副読本
			内 容	ページ	ページ
前 期	1	1章 数と式	文字を使った式のきまり	10～15	
		整式	整式の加法・減法 乗法公式による展開	16～24	
	2	1章 数と式	因数分解	25～30	
		整式			
	3	1章 数と式	平方根とその計算	32～35	
		実数	実数	36～40	
	4	1章 数と式	1次方程式 1次不等式	42～49	
		方程式と不等式	連立不等式	50	
	5	2章 2次関数	1次関数とそのグラフ	56～59	
		関数とグラフ	2次関数とそのグラフ	60～73	
	6	2章 2次関数	2次関数の最大値・最小値	75～78	
		2次関数の値の変化	2次関数のグラフと2次方程式 2次関数のグラフと2次不等式	79～86	
後 期	7	3章 三角比	三角形、三角比 三角比の利用	90～97	
		三角比	三角比の相互関係	98～100	
	8	3章 三角比	三角比の拡張 三角形の面積	102～107	
		三角比の応用	正弦定理、余弦定理	108～115	
	9	4章 集合と論証	集合と要素 命題	120～127	
		集合と論証	いろいろな証明法	128	
	10	5章 データの分析	統計とグラフ、度数分布表	134～139	
		データの分析	代表値、データの散らばり 相関係数	140～	
	11				
	12				

レ ポ ー ト			
前／後	回	課 題 内 容	締切日
前 半	1	文字を使った式のきまり	5/8
		整式の加法・減法	
	2	整式の加法・減法	
		乗法公式による展開	
		因数分解	
	3	平方根とその計算	
		実数	
		1次方程式	
		1次不等式	
後 半	4	1次関数	6/5
		2次関数とそのグラフ	
		2次関数のグラフ	
		2次方程式 2次不等式	
	5	三角比 三角比の利用	
		三角比の相互関係	
		三角比の面積	
		正弦定理、余弦定理	
	6	集合と要素	
		命題	
		代表値、データの散らばり	

2025年度 学 習 指 導 計 画 表

京都長尾谷高等学校

〔 科 目 名 : 数 学 II a 〕 〔 単 位 数 : 2 単 位 〕 〔 使 用 教 科 書 : 高 校 数 学 II (実 教 出 版) 〕 〔 使 用 副 読 本 : な し 〕

学 期	授業回	項 目	教 科 書		副読本
			内 容	ページ	ページ
前 期	1	式の計算	整式の乗法	10～13	
			因数分解		
	2	式の計算	二項定理	14～18	
			分数式		
	3	複素数と2次方程式	複素数	20～25	
			2次方程式		
	4	複素数と2次方程式	解と係数の関係	26～28	
	5	高次方程式	整式の除法	30～33	
			剰余の定理と因数定理		
	6	高次方程式 式と証明	高次方程式	34～41	
			等式の証明		
期	7	点と座標	直線上の点の座標と内分・外分	44～52	
			平面上の点の座標と内分・外分		
	8	直線の方程式	直線の方程式	54～61	
			2直線の関係		
	9	円の方程式	円の方程式	64～69	
			円と直線の関係		
	10	不等式の表す領域	円で分けられる領域 / 直線で分けられる領域	72～77	
			連立不等式の表す領域		
期	11	三角関数	一般角 / 三角関数	82～87	
			三角関数の相互関係		
	12	三角関数	三角関数の性質	88～94	
			三角関数のグラフ		

レ ポ ー ト			
前/後	回	課 題 内 容	締切日
前 半	1	整式の乗法	5/8
		因数分解	
		二項定理	
		分数式	
	2	複素数	
		2次方程式	
		解と係数の関係	
	3	整式の除法	
		剰余の定理と因数定理	
		高次方程式	
		等式の証明	
後 半	4	直線上の点の座標と内分・外分	6/5
		平面上の点の座標と内分・外分	
		直線の方程式	
		2直線の関係	
	5	円の方程式 / 円と直線の関係	
		円で分けられる領域	
		直線で分けられる領域	
		連立不等式の表す領域	
	6	一般角 / 三角関数	
		三角関数の相互関係	
		三角関数の性質	
		三角関数のグラフ	

2025年度 学 習 指 導 計 画 表

京都長尾谷高等学校

〔 科 目 名 : 数 学 I 演 習 〕 〔 単 位 数 : 2 単 位 〕 〔 使 用 教 科 書 : 高 校 数 学 I 〕 〔 使 用 副 読 本 : 指 導 者 作 成 教 材 〕

学 期	授業回	項 目	教 科 書		副読本
			内 容	ページ	ページ
前 期	1	整式	整式	10～21	
			整式の加減・乗除		
	2	整式	乗法公式による展開	22～31	
			因数分解		
	3	平方根とその計算	平方根とその計算	32～35	
	4	方程式と不等式	1次方程式	42～52	
			1次不等式		
	5	2次関数	2次関数とそのグラフ①	56～65	
	6	2次関数	2次関数とそのグラフ②	66～74	
	7	2次関数の値の変化	2次関数の最大値・最小値	75～81	
			2次関数のグラフと2次方程式		
	8	2次関数の値の変化	2次関数のグラフと2次不等式	82～87	
	9	三角比	三角形	90～100	
			三角比の相互関係		
	10	三角比	三角形の面積	102～116	
			正弦定理・余弦定理		
	11	集合と論証	集合と要素	120～130	
			命題		
	12	データの分析	データの散らばり	142～151	
			相関関係		

レ ポ ー ト			
前／後	回	課 題 内 容	締切日
前 半	1	整式の加減・乗除	5/8
		乗法公式による式の展開	
		因数分解	
	2	平方根とその計算	
		1次方程式	
		1次不等式	
	3	2次関数とそのグラフ	
後 半	4	2次関数の最大値・最小値	6/5
		2次関数のグラフと2次方程式	
		2次関数のグラフと2次不等式	
	5	三角形	
		三角比の相互関係	
		三角形の面積	
		正弦定理・余弦定理	
	6	集合と要素	
		命題	
		データの散らばり	
		相関関係	

2025年度

学 習 指 導 計 画 表

京都長尾谷高等学校

〔科目名：科学と人間生活〕〔単位数：2単位〕〔使用教科書：科学と人間生活 東京図書〕〔使用副読本：ニューサポート 科学と人間生活〕

学期	授業回	項目	教科書		副読本
			内 容	ページ	ページ
前期	1	1編 生命の科学	A 身の回りの微生物	P14～19	P6～7
		1章微生物とその利用	B 生態系における微生物のはたらき	P20～21	
	2		C 窒素と微生物のはたらき	P22～23	
			D 水中の微生物のはたらき	P24～25	
	3		A 微生物の発見と歴史 B 食品と生物	P26～29	P8～9
			C 発酵のしくみ D 医薬品と微生物	P30～35	
	4	2編 物質の科学	A 資源の再利用と3R	P68～69	P22～23
		1章材料とその再利用	元素と元素記号・原子の構造	P70～71,225	
	5		A 金属の性質 B 異なる金属の区別	P70～74	
			C 金属の製錬と人間生活 D 再生利用	P76～81	P24～25
	6		A プラスチックの性質と分類	P82～85	P26～27
			B どのようにつくるのか C 再生利用	P86～91	
後期	7	3編 光や熱の科学	A 光の進み方とその見え方	P118～119	P36～37
		1章光の性質その利用	BC 光の波としての性質①②	P120～125	
	8		A さまざまなスペクトル	P126～127	P38～39
			B 光の3原色と色	P128～129	
	9		A 電磁波の利用①	P130～133	P40～41
			B 電磁波の利用②	P134～135	
	10	4編宇宙や地球の科学	A 太陽と月がつくる暦	P160～161	P50～51
		1章 太陽と地球	B 海水面の変動と	P162～	
	11		潮の満ち干をもたらす力	165	
			A 太陽の放射エネルギー	P166～169	P52～53
	12		B 太陽がつくる大気と海洋の循環	P170～173	
			C 1年を通じた大気の運動と気象災害	P174～177	

レポ ー ト			
前／後	回	課 題 内 容	締切日
前半	1	身のまわりの微生物	5/8
		微生物のはたらき	
		微生物の発見の歴史	
		食品と微生物	
	2	発酵のしくみ	
		医療品と微生物	
		リサイクルとは何か	
		元素と原子	
	3	金属の性質と区別	
		金属の製錬	
		プラスチックの性質と分類	
		プラスチックはどのようにつくるのか	
後半	4	光の進み方とその見え方	6/5
		光の波としての性質	
		目に見える光と色の見え方	
		電磁波の利用①	
	5	電磁波の利用②	
		太陽と月がつくる暦	
		潮の満ち干をもたらす力	
	6	潮位の変動	
		太陽の放射エネルギー	
		太陽がつくる大気の循環	
		大気と風がつくる気候	

2025年度

学 習 指 導 計 画 表

京都長尾谷高等学校

〔 科 目 名 : 物 理 基 礎 〕 〔 単 位 数 : 2 単 位 〕 〔 使 用 教 科 書 : 新 物 理 基 礎 第 一 学 習 社 〕 〔 使 用 副 読 本 : ネ オ パ ル ノ ー ト 物 理 基 礎 〕

学 期	授業回	項 目	教 科 書		副読本
			内 容	ページ	ページ
前 期	1	物理量の測定と扱い方	10の累乗・有効数字	P6～39	P1～15
		第Ⅰ章 運動とエネルギー	第1節 物体の運動 速さ・速度・		
	2		等速直線運動・合成・相対速度・加速度・		
			等加速度運動・自由落下・鉛直投射		
	3	第Ⅰ章 運動とエネルギー	第2節 力と運動の法則	P40～75	P16～37
			力・力のつりあい・力の合成と分解		
	4		運動の第一・第二・第三法則		
			物体にはたらく重力・摩擦力・浮力		
	5	第Ⅰ章 運動とエネルギー	第3節 仕事と力学的エネルギー	P76～95	P38～51
			仕事・仕事率		
	6		位置エネルギー・運動エネルギー		
			力学的エネルギー保存の法則		
後 期	7	第Ⅱ章 熱	第1節 熱とエネルギー	P96～113	P52～59
			温度と熱運動・熱平衡・熱量の保存・比熱		
	8		物質の三態・熱と仕事		
			エネルギー変換と保存		
	9	第Ⅲ章 波動	第1節 波の性質 波と振動・波の表し方	P114～131	P60～67
			横波と縦波・波の重ね合せ・定常波・波の反射		
	10		第2節 音波 音の速さ・音の性質	P132～147	P68～75
			弦の固有振動・気柱の固有振動		
	11	第Ⅲ章 波動	第1節 電荷と電流	P148～165	P76～81
			電荷・電気抵抗・抵抗率・抵抗接続・電力		
	12		第2節 電流と磁場	P166～173	P82～83
			第3節 エネルギーとその利用	P174～181	P84～87

レ ポ ー ト			
前／後	回	課 題 内 容	締切日
前 半	1	第Ⅰ章1節 物体の運動	5/8
		速さと速度・自由落下	
		合成速度と相対速度	
		加速度・等加速度直線運動	
	2	第Ⅰ章2節 力と運動の法則	
		力・ちからのつりあい	
		力の合成と分解・	
	3	運動の法則・摩擦力・浮力	
		第Ⅰ章3節 仕事とエネルギー	
		仕事・仕事率	
後 半	4	位置エネルギー・運動エネルギー	6/5
		力学的エネルギー保存	
		第Ⅱ章1節 熱とエネルギー	
		温度と熱運動・物質の三態	
	5	熱の移動と保存	
		熱と仕事 エネルギーの変換	
		第Ⅲ章 波動	
		波と振動・波の表し方	
	6	重ね合わせ・反射・定常波	
		音波・速さ・性質・弦・気柱	
		第Ⅳ章 電気	
		オームの法則・直列並列回路	
		電力・電力量	
		電流がつくる磁界	

2025年度 学 習 指 導 計 画 表

京都長尾谷高等学校

〔 科 目 名 : 生 物 基 礎 〕 〔 単 位 数 : 2 単 位 〕 〔 使 用 教 科 書 : 啓 林 館 i 版 | 生 物 基 礎 〕 〔 使 用 副 読 本 : 啓 林 館 サンダイヤルNavi & トレーニング生物基礎新訂版 〕

学 期	授業回	項 目	教 科 書		副読本
			内 容	ページ	ページ
前 期	1	第1部 生物の特徴	生物の多様性 生物の共通性	22~27	8~9
		1章 生物の特徴	生物の進化と系統 細胞と個体の成り		
	2		真核細胞の構造 原核細胞の構造	30~40	10~13
			生命活動とエネルギー ATPの構造		
	3		生体内の化学反応と酵素	42~45	14~17
			光合成と呼吸		
	4	第2部 遺伝子とその働き	生物と遺伝情報	54~61	18~21
		2章 遺伝子とその働き	DNAの構造と遺伝情報		
	5		DNA複製 DNAと染色体	66~74	22~27
			細胞周期とDNAの配分 細胞周期とDNA量の変化		
	6		遺伝子発現とタンパク質 転写と翻訳	78~89	28~35
			遺伝暗号表 遺伝子発現と維持		
	7	第3部 ヒトの体の調節	恒常性と体液 血液凝固と線溶 恒常性にかかわる神経系	96~117	38~47
		3章 神経系と内分泌系による調節	自律神経と脳死 ホルモンによる調節 ホルモン分泌の調節		
	8		血糖濃度の変化と糖尿病 血糖濃度の調節のしくみ 体温と水分量の調節	118~135	48~59
		4章 免疫	生体防御の概要 遺物の侵入を阻止する仕組み 自然免疫のしくみ		
	9		獲得免疫の概要 細胞性免疫と体液性免疫抗体とその利用	136~150	60~67
			免疫記憶とその利用 免疫と病気		
	10	第4部 生物の多様性と生態系	環境と生物 光の強さと植物 森林の階層 構造と土壌遷移の過程	160~183	68~79
		5章 植生と遷移	遷移に伴う環境の変化 遷移と世界のバイオーム 日本のバイオーム		
	11	6章 生態系とその保全	生態系における生物の役割 種多様性と食物連鎖 生態系と生態ピラミッド	184~199	80~85
			キーストーン種と絶滅 生態系のバランスと変動		
	12		人間活動と生態系 生物濃縮 外来生	200~209	86~87
			生物多様性と生態系の保全 生態系と人間		

レ ポ ー ト			
前/後	回	課 題 内 容	締切日
前 半	1	生物の多様性	5/8
		生物の共通性	
		生物進化と系統	
		真核細胞の構造	
	2	生命活動とエネルギー	
		ATPの構造 光合成と呼吸	
		生物と遺伝情報	
		DNAの構造と遺伝情報	
	3	DNAと染色体	
		細胞周期	
		遺伝子発現とタンパク質	
		転写と翻訳	
後 半	4	恒常性と体液 恒常性にかかわる神経系	6/5
		脳幹と自律神経系の分布	
		ホルモンによる調節	
		血糖濃度の調節のしくみ	
	5	生体防御の概要	
		遺物の侵入を阻止する仕組み	
		自然免疫・獲得免疫の概要	
		細胞性免疫と体液性免疫 抗体とその利用	
	6	環境と生物	
		光の強さと植物	
		森林の階層構造と土壌	
		遷移の過程 世界のバイオーム	

2025年度 学 習 指 導 計 画 表

京都長尾谷高等学校

〔 科 目 名 : 体 育 1 〕 〔 単 位 数 : 2 単 位 〕 〔 使 用 教 科 書 : 現 代 高 等 保 健 体 育 〕 〔 使 用 副 読 本 : Active Sports«総合版»〕

学 期	授業回	項 目	教 科 書		副読本
			内 容	ページ	ページ
前 期	1	バドミントン	・おいたちと発展		p239~248
	2		・戦術の基本的な考え方		
			・ストローク		
			・作戦立案の要素 ・競技の反則		
	3	陸上競技	・長距離走		p43~64
	4		・走り高跳び		
			・混成競技		
	5	レスリング	・競技種目		p379
	6		・競技の進行		
			・テクニカルポイント		
期	7	サッカー	・安全に対する留意点		p143~165
	8				
	9	野外活動	・登山のマナー		p355~365
	10		・安全に対する注意		

レ ポ ー ト			
前/後	回	課 題 内 容	締切日
前 半	1	バドミントン 陸上 レスリング	5/8
後 半	2	バドミントン サッカー 野外活動	6/5

2025年度

学 習 指 導 計 画 表

京都長尾谷高等学校

〔科目名： 体 育 2 〕〔単位数：2単位〕〔使用教科書：現代高等保健体育〕〔使用副読本：Active Sports〈総合版〉〕

学 期	授業回	項目	教 科 書		副読本
			内 容	ページ	ページ
前 期	1・2	卓球	おいたちと発展、競技の進め方、 競技施設と用具		229-238
	3・4	水泳	水泳の特性、安全に対する留意点		65-80
	5・6	フェンシング	競技の種目、競技の種類、競技の進行		383
	7・8	ラグビー	おいたちと発展、競技特性、競技の進行		167-186
	9・10	トライアスロン	競技種目、競技の進行		368

レポ ー ト			
前／後	回	課 題 内 容	締切日
前 半	1	卓球	5/8
		水泳	
		フェンシング	
後 半	2	卓球	6/5
		サッカー	
		スノーボード	

學習指導計畫表

京都長尾谷高等学校

〔科目名：体育 3〕〔単位数：2単位〕〔使用教科書：現代高等保健体育〕〔使用副読本：ActiveSports「総合版」〕

[illegible]

レポ ー ト			
前／後	回	課 題 内 容	締切日
前 半	1	バドミントン	5/8
		ソフトテニス	
		ソフトボール	

2025年度

学 習 指 導 計 画 表

京都長尾谷高等学校

〔科目名：保健a〕〔単位数：1単位〕〔使用教科書：現代高等保健体育〕〔使用副読本：なし〕

学期	授業回	項目	教科書		副読本	レポ ー ト			
			内 容	ページ	ページ	前/後	回	課 題 内 容	締切日
前 期	1	現代社会と健康	健康の考え方と成り立ち	6～7		前 半	1	健康の考え方と成り立ち	5/8
			私たちの健康のすがた	8～9				私たちの健康のすがた	
			生活習慣病の予防と回復	12～13				生活習慣病の予防と回復	
	2	現代社会と健康	がんの原因と予防	14～15				がんの原因と予防	
			がんの治療と回復	16～17				がんの治療と回復	
			薬物乱用と健康	32～33					
	3	現代社会と健康	飲酒と健康	30～31		後 半	2	飲酒と健康	6/5
			精神疾患の特徴	36～37				精神疾患の特徴	
			精神疾患の予防	38～39				精神疾患の予防	
	4	現代社会と健康	現代の感染症	44～45				現代の感染症	
			感染症の予防	46～47				感染症の予防	
			性感染症・エイズとその予防	48～49					
	5	安全な社会生活	事故の現状と発生要因	60～61		後 半	3	安全な社会の形成	
			安全な社会の形成	62～63				交通における安全	
			交通における安全	64～65				応急手当の意義とその基本	
	6	安全な社会生活	応急手当の意義とその基本	68～69				日常的な応急手当	
			日常的な応急手当	70～71				心肺蘇生法	
			心肺蘇生法	72～73					
	7								
	8								
	9								
	10								
	11								
	12								

2025年度

学 習 指 導 計 画 表

京都長尾谷高等学校

〔科目名：保健b〕〔単位数：1単位〕〔使用教科書：現代高等保健体育〕〔使用副読本：なし〕

学期	授業回	項目	教科書		副読本
			内 容	ページ	ページ
前期	1	生涯を通じる健康	ライフステージと健康	76~77	
			思春期と健康	78~79	
	2	生涯を通じる健康	性意識と性行動の選択	80~81	
			妊娠・出産と健康	82~83	
	3	生涯を通じる健康	避妊法と人工妊娠中絶	84~85	
			結婚生活と健康	88~89	
後期	4	生涯を通じる健康	中高年期と健康	90~91	
			働くことと健康	92~93	
			労働災害と健康	94~95	
	5	健康を支える環境づくり	ごみ処理と上下水道の整備	106~107	
			食品の安全性	110~111	
			食品衛生にかかわる活動	112~113	
	6	健康を支える環境づくり	保健サービスとその活用	116~117	
			医療サービスとその活用	118~119	
			医薬品の制度とその活用	120~121	

レポ ー ト			
前/後	回	課 題 内 容	締切日
前半	1	思春期と健康	5/8
		妊娠・出産と健康	
		避妊法と人工妊娠中絶	
		結婚生活と健康	
後半	2	中高年期と健康	6/5
		労働災害と健康	
		ごみ処理と上下水道の整備	
		食品の安全性	
	3	食品衛生にかかわる活動	
		保健サービスとその活用	
		医療サービスとその活用	
		医薬品の制度とその活用	

2025年度 学 習 指 導 計 画 表

京都長尾谷高等学校

〔 科 目 名 : 音 楽 I 〕 〔 単 位 数 : 2 単 位 〕 〔 使 用 教 科 書 : 高 校 生 の 音 楽 ① 〕 〔 使 用 副 読 本 : Mistic Navigation 〕

学 期	授業回	項 目	教 科 書		副読本
			内 容	ページ	ページ
前 期	1	日本の伝統音楽、民謡	日本の伝統音楽の特徴を知り	p60～67	p42,43
		楽典（音名）	鑑賞を通して日本文化を学ぶ。	p140～143,150	p65～67
	2	歌唱、楽典（記譜法、写譜）	「校歌」の歌唱。記譜の方法を学ぶ。	p150	p64,65,ナビ
		器楽実習	アルトリコーダー、ハンドベル他	教員が選曲	
	3	歌唱（日本歌曲）	荒城の月	p92,93	
		楽典（楽語）	楽語を理解する。	p153	p97～100
	4	楽典（音階、音価）	音階と調、音価を学ぶ。	p150	p78～85
		器楽実習	アルトリコーダー、ハンドベル他	教員が選曲	
	5	鑑賞	クラシック音楽の名作の聴き方を学ぶ。	教員が選曲	
	6	楽典（拍子）	様々な拍子の数え方と標記方法を学ぶ。		p68～73
		器楽実習	アルトリコーダー、ハンドベル他	教員が選曲	
期	7	西洋音楽史①	バロック時代、古典派の音楽を学ぶ。	p128～133	p8～19
	8	楽典（コードネーム）	和音とコードネームを学ぶ。	p156,157	p86～90
		器楽実習	アルトリコーダー、ハンドベル他	教員が選曲	
	9	西洋音楽史②	ロマン派、近現代の音楽を学ぶ。	p134～137	p20～37
期	10	創作	拍子を理解して作曲する。		
		器楽実習	アルトリコーダー、ハンドベル他	教員が選曲	
	11	オペラ鑑賞	La traviata	p44～45	
期	12	世界の民族音楽	世界の民族音楽から異文化理解を深める。	p54～59	
		器楽実習	アルトリコーダー、ハンドベル他	教員が選曲	

レ ポ ー ト			
前／後	回	課 題 内 容	締切日
前 半	1	日本の伝統音楽（雅楽）	5/8
		音名	
	2	写譜	
	3	日本歌曲「荒城の月」	
		音楽用語	
後 半	4	鑑賞	6/5
	5	西洋音楽史	
		作曲	
	6	アルトリコーダー運指	
		世界の民族音楽（アフリカ）	
		コードネーム	

2025年度 学 習 指 導 計 画 表

京都長尾谷高等学校

〔 科 目 名 : 美 術 I 〕 〔 単 位 数 : 2 単 位 〕 〔 使 用 教 科 書 : 高 校 生 の 美 術 1 〕 〔 使 用 副 読 本 : な し 〕

学 期	授業回	項 目	教 科 書		副読本
			内 容	ページ	ページ
前	1	模写デッサン	鉛筆の表現。 グラデーションを描く。	132～135	
	2	模写デッサン	写真を見ながらスケッチブックに描き写す。 立方体を描く。	132～135	
	3	模写デッサン	写真を見ながらスケッチブックに描き写す。 幾何形態を描く。	132～135	
	4	レタリング	文字のプロポーショナルを学ぶ。 骨格、エレメントなど	149	
	5	レタリング	和文字とアルファベットの違いを学ぶ。	149	
	6	レタリング	明朝体とゴシック体の違いを学ぶ。	149	
期	7	色彩構成	色の3原色を使い、混色を学ぶ。 黄←→青、赤←→青、黄←→赤	152～154	
	8	色彩構成	2色以上の色を混ぜて混色と色彩調和を学ぶ。 色彩構成、平面構成	152～154	
	9	色彩構成	2色以上の色を混ぜて混色と色彩調和を学ぶ。 色彩構成、平面構成	152～154	
	10	デザイン	マークやピクトグラム（絵文字）の役割を理解し、様々な情報を具体的な形に表現する。	76・77	
	11	デザイン	マークやピクトグラム（絵文字）の役割を理解し、様々な情報を具体的な形に表現する。	76・77	
	12	デザイン	マークやピクトグラム（絵文字）の役割を理解し、様々な情報を具体的な形に表現する。	76・77	

レ ポ ー ト			
前/後	回	課 題 内 容	締切日
前 半	1	デッサン基礎 「5段階のグレースケール」 陰影・中間色の表現	5/8
	2	レタリング 「永」 明朝体 デザインの基礎	
	3	水彩 「屋内の風景」 水彩技法 パースの概念	
	4	デッサン 「立体感の表現」球体を描く タッチの概念 光源の意識	
	5	ピクトグラム 「クラブ活動」 コンセプトを立てる 要素の引き算	
	6	鑑賞・美術史 絵画・彫刻・デザインの歴史 作品に対する言語表現	
後 半	1	デッサン基礎 「5段階のグレースケール」 陰影・中間色の表現	6/5
	2	レタリング 「永」 明朝体 デザインの基礎	
	3	水彩 「屋内の風景」 水彩技法 パースの概念	
	4	デッサン 「立体感の表現」球体を描く タッチの概念 光源の意識	
	5	ピクトグラム 「クラブ活動」 コンセプトを立てる 要素の引き算	
	6	鑑賞・美術史 絵画・彫刻・デザインの歴史 作品に対する言語表現	

2025年度 学 習 指 導 計 画 表

京都長尾谷高等学校

〔 科 目 名 : 書 道 I 〕 〔 単 位 数 : 2 単 位 〕 〔 使 用 教 科 書 : 書 道 I (東 京 書 籍) 〕 〔 使 用 副 読 本 : 高 校 硬 筆 の 練 習 (教 育 出 版) 〕

学 期	授業回	項 目	教 科 書		副読本
			内 容	ページ	ページ
前 期	1	楷書の学習	欧陽詢の整然として隙がない楷書を 臨書する。	p16～33	適宜
	2	九成宮醴泉銘	楷書の特徴と唐の四大家について 学ぶ。	p22～23	
	3	行書の学習	行書の特徴を理解し、用筆法を学ぶ。	p38～57	適宜
	4	風信帖	空海について学ぶ。 文字の配置に気を付けて、臨書する。	p52～57	
	5	篆書の学習	篆書の特徴を理解し、蔵鋒などの 用筆法を練習する。	p66～67	適宜
	6	泰山刻石	均衡美と均整美を兼ね備えた、篆書 の代表作を臨書する。	p68～69	
	7	仮名の学習	仮名の成り立ちを学ぶ。 いろは歌	p76～85	適宜
	8	蓬萊切	蓬萊切を臨書する。	p86～87	
	9	漢字の書の創作	古典の臨書や鑑賞を通して身に付けた表現方法をもとに、 手順に従って漢字の書の制作をする。	p70～73	適宜
	10	創作	草稿を作り、練習して作品にまと める。		
	11		自分の表現を目指して、制作の意図 に応じて、工夫する。	p106～123	適宜
	12	創作	これまでに学んだ名筆の表現を生か して、創作する。		

レ ポ ー ト			
前／後	回	課 題 内 容	締切日
前 半	1	「 清 泉 」	5/8
	2	「 風 信 雲 書 」	
	3	ペン字教本 原稿用紙の書き方を学ぶ	
後 半	4	「 皇 帝 」	6/5
	5	「おほぞらに むれたつ ～かな～」	
	6	漢字の成立と変遷 中国と日本の書家	

2025年度

学 習 指 導 計 画 表

京都長尾谷高等学校

〔科目名：英語コミュニケーションⅠ〕〔単位数：2単位〕〔使用教科書：COMETEnglishCommunicationⅠ〕〔使用副読本：COMET基本文法定着ドリルⅠ〕

学 期	授業回	項目	教 科 書		副読本
			内 容	ページ	ページ
前 期	1	1	be動詞・一般動詞 否定文・疑問文	p11-p17	p5-p11
	2	2	What did you do in Japan? 本文内容・新出単語 過去形	p18-p25	p12-p15
	3	3	When do you feel Happy? 本文内容・新出単語 進行形	p26-p33	p16-p19
	4	4	Onigiri goes Overseas? 本文内容・新出単語 助動詞	p36-p43	p20-p23
	5	5	Pictogram 本文内容・新出単語 不定詞	p44-p53	p24-p27
	6	6	Morita Yuko 本文内容・新出単語 動名詞	p54-p63	p30-p33
	7	7	Convenience Store: Keys to their success 本文内容・新出単語、that節	p70-p79	p34-p35
	8	8	High school Aquarium 本文内容・新出単語 現在完了形	p80-p89	p36-p39
	9	9	Smart Farming 本文内容・新出単語 受け身形	p90-p99	p40-p43
	10	10	Food Waste 本文内容・新出単語 比較表現	p102-p113	p46-p49
	11	11	William and His Windmill 本文内容・新出単語 関係代名詞・関係副詞	p114-p125	p50-p53
	12	12	復習		

レ ポ ー ト			
前／後	回	課 題 内 容	締切日
前 半	1	warm up, Get Ready! be動詞・一般動詞 疑問文・否定文 単語（形容詞）	5/8
	2	Lesson1, Lesson2 過去形・進行形	
	3	Lesson3, Lesson4 助動詞・不定詞	
	4	Lesson5, Lesson6 動名詞・that節 単語(職業)	
	5	Lesson7, Lesson8 現在完了形・受動態	
	6	Lesson9, Lesson10 比較表現・関係詞	
後 半	4	Lesson5, Lesson6 動名詞・that節 単語(職業)	6/5
	5	Lesson7, Lesson8 現在完了形・受動態	
	6	Lesson9, Lesson10 比較表現・関係詞	

2025年度

学 習 指 導 計 画 表

京都長尾谷高等学校

〔科目名：英語コミュニケーションⅡa〕〔単位数：2単位〕〔使用教科書：COMET English CommunicationⅡ〕〔使用副読本：COMET 基本文法定着ドリル2〕

学 期	授業回	項目	教 科 書		副読本
			内 容	ページ	ページ
前 期	1	Places Worth Visiting	人に要求する（１）	P6～P15	P18～P21
		行ってみたい場所			
	2	Places Worth Visiting	人に要求する（２）	P6～P15	P18～P21
		行ってみたい場所			
	3	Iwago Mitsuki	どのように[何をなど]～すればよいか（１）	P16～P25	P22～P25
		動物写真家 岩合光昭			
	4	Iwago Mitsuki	どのように[何をなど]～すればよいか（２）	P16～P25	P22～P25
		動物写真家 岩合光昭			
	5	The Haka	動詞を形容詞の代わりに（１）	P28～P37	P26～P29
		ハカ			
	6	The Haka	動詞を形容詞の代わりに（２）	P28～P37	P26～P29
		ハカ			
期	7	Digital Detox	～かどうか（１）	P38～P49	P30～P33
		デジタルデトックス			
	8	Digital Detox	なぜ[いつなど]～か（２）	P38～P49	P30～P33
		デジタルデトックス			
	9	Goal Setting	話し手の印象・判断を表す動詞	P52～P63	P34～P35
		目標設定			
期	10	The High School Hair	～したにちがいないなど（１）	P64～P75	P36～P39
		高校生美容室			
	11	The High School Hair	～したにちがいないなど（２）	P64～P75	P36～P39
		高校生美容室			
期	12				

レ ポ ー ト			
前／後	回	課 題 内 容	締切日
前 半	1	Lesson1	5/8
		人に要求する	
		wantなど＋（人）＋to＋不定詞	
	2	Lesson2	
		どのように[何をなど]～すればよいか	
		疑問詞＋to＋不定詞	
	3	Lesson3	
		動詞を形容詞の代わりに	
		分詞	
後 半	4	Lesson4	6/5
		～かどうか／なぜ[いつなど]～か	
		if節／疑問施節	
	5	Lesson5	
		話し手の印象・判断を表す動詞	
		seem	
	6	Lesson6	
		～したにちがいないなど	
		助動詞＋have＋過去分詞	

2025年度 学 習 指 導 計 画 表

京都長尾谷高等学校

〔 科 目 名 : 総 合 英 語 演 習 a 〕 〔 単 位 数 : 2 単 位 〕 〔 使 用 教 科 書 : アースライズ総合英語 〕 〔 使 用 副 読 本 : な し 〕

学 期	授業回	項 目	教 科 書		副読本
			内 容	ページ	ページ
前 期	1	Unit 0 はじめに	品詞と句・節 いろいろな文 (平叙文・疑問文・命令文)	P12～P29	
	2	Unit 1	文の組み立て方 (文型)	P30～P51	
	3	Unit 2	動詞と時の表し方① (現在・過去・未来・進行形)	P52～P75	
	4	Unit 3	動詞と時の表し方② (現在完了・過去完了・未来完了)	P76～P97	
	5	Unit 4	助動詞 (提案・願望を表す表現、慣用表現)	P98～P139	
	6	Unit 5	受動態	P140～P165	
	7	Unit 6	不定詞	P166～P203	
	8	Unit 7	動名詞	P204～P231	
	9	Unit 8	分詞	P232～P259	
	10	※Unit 17	疑問詞 ※関係詞の前に疑問詞を学ばせたい。	P470～P491	
	11	Unit 9	関係詞 (関係代名詞・関係副詞)	P260～P289	
	12	Unit 10	比較 (形容詞・副詞の原級・比較級・最上級)	P290～P319	

レ ポ ー ト			
前/後	回	課 題 内 容	締切日
前 半	1	品詞と句・節 いろいろな文 文の組み立て方 (文型)	5/8
	2	動詞と時の表し方① (現在・過去・未来等) 動詞と時の表し方② (現在完了・過去完了等)	
	3	助動詞 受動態	
後 半	4	不定詞 動名詞	6/5
	5	分詞 疑問詞	
	6	関係詞 比較	

2025年度 学 習 指 導 計 画 表

京都長尾谷高等学校

〔科目名：ベーシック英会話〕〔単位数：2単位〕〔使用教科書：なし〕〔使用副読本：指導者作成教材〕

学 期	授業回	項 目	教 科 書		副読本
			内 容	ページ	ページ
前	1	自己紹介をしよう	新出単語、便利な表現を覚えよう		
			ペアワーク、グループワーク		
	2	好きなことについて話そう	新出単語、便利な表現を覚えよう		
			ペアワーク、グループワーク		
	3	明日の予定を話そう	新出単語、便利な表現を覚えよう		
			ペアワーク、グループワーク		
期	4	昨日の出来事について話そう	新出単語、便利な表現を覚えよう		
			ペアワーク、グループワーク		
	5	日本食について伝えよう	新出単語、便利な表現を覚えよう		
			ペアワーク、グループワーク		
	6	日本の文化について伝えよう	新出単語、便利な表現を覚えよう		
			ペアワーク、グループワーク		
	7	買い物をしよう	新出単語、便利な表現を覚えよう		
			ペアワーク、グループワーク		
	8	カフェで休憩をしよう	新出単語、便利な表現を覚えよう		
			ペアワーク、グループワーク		
	9	道案内をしよう	新出単語、便利な表現を覚えよう		
			ペアワーク、グループワーク		
	10	色んな職業について話そう	新出単語、便利な表現を覚えよう		
	11	ホテルにチェックインしよう	新出単語、便利な表現を覚えよう		
			ペアワーク、グループワーク		
	12	留学へ出発しよう	新出単語、便利な表現を覚えよう		
			ペアワーク、グループワーク		

レ ポ ー ト			
前／後	回	課 題 内 容	締切日
前 半	1	基本の動詞（現在形）	5/8
		自己紹介文	
		感情を表す形容詞	
		質問に英語で答える問題	
	2	基本の動詞（現在形）	
		英語の質問分の作成	
		5W1Hについて	
		質問に英語で答える問題	
	3	基本の動詞（現在形）	
		英文の作成（現在形）	
		副詞に関する問題	
		イラストを見て英文を作成	
後 半	4	基本の動詞（過去形）	6/5
		英文の作成（過去形）	
		身の回りの物を英語で表現	
		質問に英語で答える問題	
	5	基本の動詞（現在分詞）	
		英文の作成（現在進行形）	
		身の回りの施設を英語で表現	
		質問に英語で答える問題	
	6	基本の動詞（過去分詞）	
		英文の作成（現在完了形）	
		副詞に関する問題	
		イラストを見て英文を作成	

2025年度 学 習 指 導 計 画 表

京都長尾谷高等学校

〔 科 目 名 : 異 文 化 理 解 〕 〔 単 位 数 : 2 単 位 〕 〔 使 用 教 科 書 : な し 〕 〔 使 用 副 読 本 : 指 導 者 作 成 教 材 〕

学 期	授業回	項 目	教 科 書		副読本
			内 容	ページ	ページ
前	1	基本的な挨拶	ネイティブ講師と様々なテーマをもと		
		自己紹介をしよう	英会話の練習をおこなう。		
	2	自分の周りの	ネイティブ講師と様々なテーマをもと		
		人や物の紹介をしよう	英会話の練習をおこなう。		
	3	外国の都市、日本と異なる	ネイティブ講師と様々なテーマをもと		
		習慣や文化を知ろう	英会話の練習をおこなう。		
期	4	世界には様々な文化や習慣	ネイティブ講師と様々なテーマをもと		
		あること知ろう	英会話の練習をおこなう。		
	5	レストランで注文しよう	ネイティブ講師と様々なテーマをもと		
			英会話の練習をおこなう。		
	6	コーヒーショップでTo-Go	ネイティブ講師と様々なテーマをもと		
			英会話の練習をおこなう。		
	7	新しい友達と会話をしよう	ネイティブ講師と様々なテーマをもと		
			英会話の練習をおこなう。		
	8	自分の体調を伝えよう	ネイティブ講師と様々なテーマをもと		
			英会話の練習をおこなう。		
	9	入国審査や税関審査について	ネイティブ講師と様々なテーマをもと		
		知り、準備をしよう	英会話の練習をおこなう。		
	10	将来の自分の夢について	ネイティブ講師と様々なテーマをもと		
		友達と話してみよう	英会話の練習をおこなう。		
	11				
	12				

レ ポ ー ト			
前／後	回	課 題 内 容	締切日
前 半	1	身近で扱う動詞	5/8
		日常会話のワンフレーズ	
		世界各国の国や都市	
		英語で自己紹介	
	2	身近で扱う動詞	
		日常会話のワンフレーズ	
		世界各国の国や都市	
		世界各国の国や都市	
	3	身近で扱う動詞	
		日常会話のワンフレーズ	
		覚えておきたい英語	
後 半	4	好きな季節について	6/5
		身近で扱う動詞	
		日常会話のワンフレーズ	
		世界各国の国や都市	
	5	好きな音楽について	
		身近で扱う動詞	
		日常会話のワンフレーズ	
		世界各国の国や都市	
	6	自分の家族について	
		身近で扱う動詞	
		日常会話のワンフレーズ	
		覚えておきたい英語	
		入国審査に関する問題	

2025年度

学 習 指 導 計 画 表

京都長尾谷高等学校

〔科目名：完成英語特講a〕〔単位数：2単位〕〔使用教科書：指導者オリジナルプリント集〕〔使用副読本：〕

学期	授業回	項目	教科書		副読本
			内 容	ページ	ページ
前期	1	文法の理解	文の成り立ち（語順）	1	
	2	文法の理解	文の種類（平叙文・疑問文・否定文他）	2	
	3	文法の理解	動詞（be動詞・一般動詞）	3～4	
	4	文法の理解	現在形・過去形・進行形・未来形	5～6	
	5	文法の理解	助動詞Ⅰ（基本的な助動詞）	7～8	
	6	文法の理解	完了形Ⅰ・現在完了形（4つの用法）	9～10	
	7	文法の理解	5文型Ⅰ	11～12	
	8	文法の理解	受動態（受動態と能動態）	13～14	
	9	文法の理解	不定詞Ⅰ（名・形・副の3つの用法）	15～16	
	10	文法の理解	動名詞Ⅰ（動名詞と不定詞）	17～18	
	11	文法の理解	分詞Ⅰ	19～20	
	12	文法の理解	名詞Ⅰ（5種類の名詞）・代名詞Ⅰ	21～22	
	13	文法の理解	形容詞・副詞Ⅰ（形容詞と福祉の働き）	23～24	
	14	文法の理解	疑問詞	25～26	
	15	文法の理解	関係詞Ⅰ（関係代名詞と関係副詞）	27～28	
	16	文法の理解	比較Ⅰ（原級・比較級・最上級）	29～30	
	17	文法の理解	前置詞・接続詞	31～32	
	18	文法の理解	時制の一致（話法：間接話法と直接話法）	33～34	
	19	文法の理解	仮定法Ⅰ（仮定法過去他）	35～36	
	20	文法の理解	倒置・強調	37～38	

レポ ー ト			
前／後	回	課 題 内 容	締切日
前半	1	英文法の理解（文法用語と英文の成り立ち）	5/9
	2	英文読解（和訳）	
	3	英文の成り立ちと英文法（5文型の成り立ちとその活用）	
後半	4	英文読解（和訳）	6/6
	5	英文読解（和訳）	
	6	英文読解（和訳）	

2025年度 学 習 指 導 計 画 表

京都長尾谷高等学校

〔 科 目 名 : 完 成 英 語 特 講 b 〕 〔 単 位 数 : 2 単 位 〕 〔 使 用 教 科 書 : 指 導 者 オリジナルプリント集 〕 〔 使 用 副 読 本 : 〕

学 期	授業回	項 目	教 科 書		副読本
			内 容	ページ	ページ
前 期	1	英文和訳	句と節（短文・重文・複文）	1	
	2	英文和訳	句と節（短文・重文・複文）	2	
	3	英文和訳	否定Ⅰ・否定Ⅱ（部分否定・二重否定）	3～4	
	4	英文和訳	5文型Ⅱ	5～6	
	5	英文和訳	助動詞Ⅱ	7～8	
	6	英文和訳	完了形Ⅱ（過去完了・未来完了）	9～10	
	7	英文和訳	完了形のまとめ	11～12	
	8	英文和訳	受動態Ⅱ（疑問文、否定文の受動態他）	13～14	
	9	英文和訳	不定詞Ⅱ（toのない不定詞・不定詞の否定形）	15～16	
	10	英文和訳	動名詞Ⅱ（動名詞の否定形・完了形・受動態他）	17～18	
後 期	11	英文和訳	分詞Ⅱ・分詞構文（分詞構文の形と表す意味他）	19～20	
	12	英文和訳	名詞Ⅱ	21～22	
	13	英文和訳	代名詞Ⅱ	23～24	
	14	英文和訳	副詞Ⅱ	25～26	
	15	英文和訳	関係詞Ⅱ（制限的用法と非制限的用法他）	27～28	
	16	英文和訳	比較Ⅱ（原級・比較級・最上級の重要構文）	29～30	
	17	英文和訳	話法Ⅱ（疑問文・命令文・感嘆文の伝達）	31～32	
	18	英文和訳	省略・挿入・同格	33～34	
	19	英文和訳	仮定法Ⅱ（仮定法過去完了・慣用表現）	35～36	
	20	英文和訳	名詞表現・無生物主語	37～38	

レ ポ ー ト			
前／後	回	課 題 内 容	締切日
前 半	1	英文和訳	5/8
	2	英文和訳（第4文型および第5文型をとる動詞）	
	3	英文和訳（動詞の役割や接続詞の働き）	
後 半	4	長文読解と和訳	6/5
	5	長文読解と和訳	
	6	長文読解と和訳	

2025年度

学 習 指 導 計 画 表

京都長尾谷高等学校

〔科目名：完成英語特講c〕〔単位数：2単位〕〔使用教科書：指導者オリジナルプリント集〕〔使用副読本：〕

学期	授業回	項目	教科書		副読本
			内 容	ページ	ページ
前期	1	英文読解	短文読解および英文和訳	1	
	2	英文読解	短文読解および英文和訳	2	
	3	英文読解	短文読解および英文和訳	3～4	
	4	英文読解	短文読解および英文和訳	5～6	
	5	英文読解	短文読解および英文和訳	7～8	
	6	英文読解	短文読解および英文和訳	9～10	
	7	英文読解	短文読解および英文和訳	11～12	
	8	英文読解	短文読解および英文和訳	13～14	
	9	英文読解	短文読解および英文和訳	15～16	
	10	英文読解	短文読解および英文和訳	17～18	
後期	11	英文読解	長文読解および英文和訳	19～20	
	12	英文読解	長文読解および英文和訳	21～22	
	13	英文読解	長文読解および英文和訳	23～24	
	14	英文読解	長文読解および英文和訳	25～26	
	15	英文読解	長文読解および英文和訳	27～28	
	16	英文読解	長文読解および英文和訳	29～30	
	17	英文読解	長文読解および英文和訳	31～32	
	18	英文読解	長文読解および英文和訳	33～34	
	19	英文読解	長文読解および英文和訳	35～36	
	20	英文読解	長文読解および英文和訳	37～38	

レポ ー ト			
前／後	回	課 題 内 容	締切日
前半	1	英文和訳	5/8
	2	英文和訳	
	3	英文法（接続詞と疑問詞の働き）	
後半	4	英文和訳	6/5
	5	英文読解と英文和訳	
	6	英文読解と英文和訳	

2025年度

学 習 指 導 計 画 表

京都長尾谷高等学校

〔 科 目 名 : 家 庭 基 礎 〕 〔 単 位 数 : 2 単 位 〕 〔 使 用 教 科 書 : Creative Living 「 家 庭 基 礎 」 で 生 活 を つ く ろ う 〕 〔 使 用 副 読 本 : な し 〕

学 期	授業回	項 目	教 科 書		副読本
			内 容	ページ	ページ
前 期	1	生活のマネジメント	ライフスタイルの選択	8～9	
	2	家族・家庭生活の マネジメント	家族構成の変化 家庭の機能と労働 家族・家庭の法律	24～33	
	3	子どもの生活と子育ての マネジメント	子ども時期の大切さ 乳幼児の成長 子どもの生活と遊び	40～55	
	4	高齢期のマネジメント	高齢者の心身の特徴 高齢者福祉・介護保険	70～75	
	5	共生生活をつくる	家族を支える福祉 共生社会の実現	88～89	
	6	経済生活のマネジメント 1	消費と契約 支払いの多様化	112～115	
	7	経済生活のマネジメント 2	消費者信用 消費者問題 消費者保護	116～121	
	8	食生活のマネジメント 1	5大栄養素	142～159	
	9	食生活のマネジメント 2	食品の選択 食品の保存と衛生	166～171	
	10	衣生活のマネジメント	被服材料と性能 被服の管理	204～209	
	11	被服実習	針・糸。布を使い手縫い作品 【例あずま袋】		
	12	住生活のマネジメント	住要求の特徴 快適で健康な生活 安全な住環境	220～229	

レ ポ ー ト			
前/後	回	課 題 内 容	締切日
前 半	1	ライフスタイルの選択	5/8
		家族家庭の法律	
		妊娠出産と胎児の発育	
		子どもの生活と保育	
	2	高齢者の心身の特徴	
		社会保障	
		共生社会の実現	
		持続可能な社会	
後 半	3	消費と契約	6/5
		消費者問題・消費者保護	
		五大栄養素	
		食品の選択	
	4	被服の機能	
		被服の管理	
		住文化	
		快適で健康な住生活	

2025年度

学 習 指 導 計 画 表

京都長尾谷高等学校

〔 科 目 名 : 家 庭 総 合 a 〕

〔 単 位 数 : 2 単 位 〕

〔 使 用 教 科 書 : CreativeLivingk 「 家 庭 総 合 」 で 生 活 を つ く ろ う 〕

〔 使 用 副 読 本 : な し 〕

学 期	授業回	項 目	教 科 書		副読本
			内 容	ページ	ページ
前 期	1	青年期の課題と自立	ライフスタイルの選択	8～9	
			青年期と自立	20～21	
	2	家族・生活の マネジメント 1	家族の定義と家族構成の変化	28～29	
			家庭の機能と労働	32～33	
	3	家族・生活の マネジメント 2	家族・家庭の法律	34～37	
			家族・家庭と社会		
	4	子どもの生活と 子育てのマネジメント 1	妊娠・出産と胎児の発育	46～47	
			子どもの生活と保育	56～57	
	5	子どもの生活と 子育てのマネジメント 2	子どもの生活と遊び	58～59	
			子どもの健康と安全	62～67	
	6	高齢期のマネジメント 1	高齢者を取り巻く社会	74～79	
			高齢者の心身の特徴 高齢者福祉		
期	7	高齢期のマネジメント 2	介護保険	81～85	
			地域や社会の果たす役割		
	8	共生社会をつくる 1	家族・家庭を支える福祉	92～95	
			社会保障と地域福祉		
	9	共生社会をつくる 2	共生社会の実現	96～97	
期	10	持続可能な社会をつくる 1	生活と環境の関り	102～103	
	11	持続可能な社会をつくる 2	持続可能な消費	104～107	
			参画する意義		
期	12	被服実習	針・糸・布を使った		
			手縫い作品		

レ ポ ー ト			
前/後	回	課 題 内 容	締切日
前 半	1	自立と共生	5/8
		家族の定義	
		家族・家庭の法律	
		家族・家庭と社会	
	2	子ども時期の大切さ	
		妊娠・出産と胎児の発育	
		子どもの生活と保育	
		子どもの健康と安全	
		子どもの人権	
後 半	3	高齢者を取り巻く社会	6/5
		高齢者の心身の特徴	
		高齢者福祉	
		これからの高齢社会	
	4	家族・家庭を支える福祉	
		社会保障と地域福祉	
		共生社会の実現	
		S D G s	

2025年度 学 習 指 導 計 画 表

京都長尾谷高等学校

〔 科 目 名 : 情 報 I 〕 〔 単 位 数 : 2 単 位 〕 〔 使 用 教 科 書 : 東 京 書 籍 新 編 情 報 I 〕 〔 使 用 副 読 本 : な し 〕

学 期	授業回	項 目	教 科 書		副読本
			内 容	ページ	ページ
前 期	1	情報で問題を解決する	情報とメディアの特性	6~7	
			問題解決の流れ	8~9	
	2	情報で問題を解決する	情報モラルと個人情報の流出	12~17	
			著作権	18~19,26	
	3	情報で問題を解決する	情報技術の発展～よりよい情報社会へ	20~25	
	4	情報を解決する	コミュニケーションについて	34~37	
			デジタルの世界へ	38~41	
	5	情報を解決する	情報・ユニバーサルデザイン	48~51	
			情報デザイン	52~53	
	6	コンピュータを活用する	コンピュータの仕組み	62~63	
			ソフトウェアの仕組み	64~65	
期	7	コンピュータを活用する	アルゴリズムとプログラム	68~77	
			プログラミング	70~77	
	8	データを活用する	ネットワークとインターネット	90~93	
			情報セキュリティ	98~99	
	9	データを活用する	データベース	105	
			目的に合わせたデータの利用	108~109	
期	10	データを活用する	情報セキュリティ	111	
	11	実習	プログラミング		
期	12	実習	プログラミング		

レ ポ ー ト			
前／後	回	課 題 内 容	締切日
前 半	1	情報とメディアの特性	5/8
		問題解決の流れ	
		情報モラルと個人情報の流出	
		著作権	
	2	コミュニケーションについて	
		デジタルの世界へ	
		デジタル表現	
		情報・ユニバーサルデザイン	
後 半	3	コンピュータの仕組み	6/5
		ソフトウェアの仕組み	
		アルゴリズムとプログラム	
		プログラミング	
	4	ネットワークとインターネット	
		サーバとクライアント	
		情報セキュリティ	
		データベース	

2025年度

学 習 指 導 計 画 表

長尾谷高等学校

〔科目名：ビジネス基礎b〕〔単位数：2単位〕〔使用教科書：ビジネス基礎〕〔使用副読本：指導者作成教材〕

学 期	授業回	項 目	教 科 書		副読本
			内 容	ページ	ページ
後 期	1	5章 企業活動の基礎	1 ビジネスと企業	p.113～p.123	
	2	5章 企業活動の基礎	2 マーケティングの重要性	p.124～p.129	
			3 資金調達		
	3	5章 企業活動の基礎	4 財務諸表の役割	p.130～p.133	
			5 企業活動と税		
	4	5章 企業活動の基礎	6 雇用	p.134～.140	
	5	6章 ビジネスと売買取引	1 売買取引の手順	p.141～p.149	
	6	6章 ビジネスと売買取引	2 代金決済	p.050～p.158	
	7	7章 ビジネス計算	1 ビジネス計算の基礎	p.159～p.171	
	8	7章 ビジネス計算	2 ビジネス計算の応用	p.172～p.186	
	9	8章 身近な地域のビジネ	1 さまざまな地域の魅力と課題	p.187～p.199	
			2 地域ビジネスの動向		
	10	重要用語のまとめ	重要用語のまとめ	p.200～	
			口絵 p.3～p.6の説明	口絵	
	11	5章・6章	確認問題		
	12	7章・8章	確認問題		

レポ ー ト			
前/後	回	課 題 内 容	締切日
前 半	1	5章 企業活動の基礎からの総合問題	11/6
	2	6章 ビジネスと売買取引からの総合問題	
後 半	3	7章 ビジネス計算からの総合問題	12/4
	4	8章 身近な地域のビジネスからの総合問題 重要用語のまとめからの総合問題	

2025年度

学 習 指 導 計 画 表

長尾谷高等学校

〔 科 目 名 : 情 報 処 理 〕

〔 単 位 数 : 2 単 位 〕 〔 使 用 教 科 書 : 情 報 処 理 〕

〔 使 用 副 読 本 : 指 導 者 作 成 教 材 〕

学 期	授業回	項 目	教 科 書		副読本
			内 容	ページ	ページ
前 期	1	第1章 企業活動と情報処理	1節 情報処理の重要性	p.7～p.19	
	2	第1章 企業活動と情報処理	2節 情報モラルと法規	p.20～p.29	
	3	第1章 企業活動と情報処理	3節 コミュニケーションと情報デザイン	p.30～p.39	
	4	第2章 コンピュータシステムと情報通信ネットワーク	1節 コンピュータシステムの概要 2節 情報通信ネットワークのしくみと構成	p.40～p.71	
	5	第2章 コンピュータシステムと情報通信ネットワーク	3節 インターネットの活用 4節 情報セキュリティの確保	p.72～p.91	
	6	第3章 情報の集計と分析	1節 ビジネスと統計 2節 関数を利用した表の作成	p.92～p.143	
	7	第3章 情報の集計と分析	3節 グラフの作成 4節 情報の整列・ 検索・抽出 5節 問題の発見と解決方	p.144～p.177	
	8	第4章 ビジネス文書の作	1節 ビジネス文書と表現	p.178～p.183	
	9	第4章 ビジネス文書の作	2節 基本文書の作成 3節 応用文書の作成	p.184～p.237	
	10	第5章 プレゼンテーション	1節 プレゼンテーションの技法 2節 ビジネスにおけるプレゼンテーション	p.238～p.259	
	11				
	12				

レ ポ ー ト			
前/後	回	課 題 内 容	締切日
前 半	1	第1章 企業活動と情報処理からの総合問題	5/8
	2	第2章 コンピュータシステムと情報通信ネットワークからの総合問題	
後 半	3	第3章 情報の集計と分析からの総合問題	6/5
	4	第4章 ビジネス文書の作成からの総合問題 第5章 プレゼンテーションからの総合問題	

2025年度

学 習 指 導 計 画 表

京都長尾谷高等学校

〔科目名：映画で学ぶ英語の世界〕〔単位数：2単位〕〔使用教科書：なし〕〔使用副読本：指導者テキスト〕

学 期	授業回	項 目	教 科 書		副読本
			内 容	ページ	ページ
前 期	1	アナと雪の女王	Blue-ray視聴（前半）		P1～P4
			副読本を使った学習（内容理解・単語チェック他）		
	2	アナと雪の女王	Blue-ray視聴（前半）		P5～P8
			副読本を使った学習（内容理解・単語チェック他）		
	3	アナと雪の女王	Blue-ray視聴（後半）		P9～P12
			副読本を使った学習（内容理解・単語チェック他）		
	4	アナと雪の女王	Blue-ray視聴（後半）		P13～P16
			副読本を使った学習（内容理解・単語チェック他）		
	5	塔の上のラプンツェル	Blue-ray視聴（前半）		P17～P20
			副読本を使った学習（内容理解・単語チェック他）		
	6	塔の上のラプンツェル	Blue-ray視聴（前半）		P21～P24
			副読本を使った学習（内容理解・単語チェック他）		
	7	塔の上のラプンツェル	Blue-ray視聴（後半）		P25～P28
			副読本を使った学習（内容理解・単語チェック他）		
	8	塔の上のラプンツェル	Blue-ray視聴（後半）		P29～P31
			副読本を使った学習（内容理解・単語チェック他）		
	9				
	10				
	11				
	12				

レポ ー ト			
前／後	回	課 題 内 容	締切日
前 半	1	「アナと雪の女王」 ・ P1～P16までの新出単語 ・ P1～P16までのフレーズ 及び文法チェック	5/8
後 半	2	「塔の上のラプンツェル」 ・ P17～P31までの新出単語 ・ P17～P31までのフレーズ 及び文法チェック	6/5

2025年度

学 習 指 導 計 画 表

京都長尾谷高等学校

〔科目名：レッツエンジョイイングリッシュ〕〔単位数：2単位〕〔使用教科書：なし〕〔使用副読本：指導者作成教材〕

学 期	授業回	項 目	教 科 書		副読本
			内 容	ページ	ページ
前 期	1	英語であいさつ	ネイティブ講師と様々なテーマをもと		
		自己紹介をする	英語で話そう。【ペア・グループワーク】		
	2	自身の周りの	ネイティブ講師と様々なテーマをもと		
		人物や物の紹介をする	英語で話そう。【ペア・グループワーク】		
	3	空港でのチェックインや入	ネイティブ講師と様々なテーマをもと		
		乗り物の乗り方	英語で話そう。【ペア・グループワーク】		
	4	道の尋ねかた	ネイティブ講師と様々なテーマをもと		
		日本、外国の気候について	英語で話そう。【ペア・グループワーク】		
	5	習慣、文化を学ぶ①	ネイティブ講師と様々なテーマをもと		
			英語で話そう。【ペア・グループワーク】		
	6	習慣、文化を学ぶ②	ネイティブ講師と様々なテーマをもと		
			英語で話そう。【ペア・グループワーク】		
	7	洋服屋、お土産屋で	ネイティブ講師と様々なテーマをもと		
		買い物をしよう	英語で話そう。【ペア・グループワーク】		
	8	ファーストフード店、カフェ	ネイティブ講師と様々なテーマをもと		
		で注文をしよう	英語で話そう。【ペア・グループワーク】		
	9	体調を英語で伝えよう	ネイティブ講師と様々なテーマをもと		
			英語で話そう。【ペア・グループワーク】		
	10	自分の夢について	ネイティブ講師と様々なテーマをもと		
		英語で話そう	英語で話そう。【ペア・グループワーク】		
	11				
	12				

レポ ー ト			
前／後	回	課 題 内 容	締切日
前 半	1	自己紹介で用いる基本の表現	5/8
		様々な職業に関わる英語	
		身の回りに関わる英単語	
		簡単に質問に英語で答えよう	
後 半	2	天候に関わる英単語	
		簡単な質問に英語で答えよう	
		簡単な質問に英語で答えよう	

2025年度 学 習 指 導 計 画 表

京都長尾谷高等学校

〔 科 目 名 : 点 字 〕〔単位数:2単位〕〔 使 用 教 科 書 : な し 〕〔 使 用 副 読 本 : な し 〕

学 期	授業回	項 目	教 科 書		副読本
			内 容	ページ	ページ
前 期	1		レポートに関する内容		
			DVD視聴「NHK 松永 信也さん」		
	2		点字の書き方		
			五十音・濁音・半濁音・数字		
	3		点字の読み方		
			DVD視聴「見えないをあきらめない」		
	4		見えない人とのコミュニケーション		
			点字の読み方		
	5		DVD視聴「生活ホットモーニング」		
			点字で感想を書く		
	6				
	7				
	8				
	9				
	10				
	11				
	12				

レポ ー ト			
前/後	回	課 題 内 容	締切日
前 半	1	視覚障害について	5/8
		点字を読む	
後 半	2	点字を読む	6/5
		点字を書く	

2025年度

学 習 指 導 計 画 表

京都長尾谷高等学校

〔 科 目 名 : 手 話 〕〔単位数: 2単位〕〔使用教科書: 聴さんと学ぼう!〕〔 使 用 副 読 本 : な し 〕

学 期	授業回	項 目	教 科 書		副読本
			内 容	ページ	ページ
前 期	1	聴覚障害者とは	聴覚障害者とは。		
			指文字、名前の手話を覚えよう。		
	2	聴覚障害者の生活			
	3		聴覚障害者の生活を知ろう。		
			家族、数字の手話を覚えよう。		
	4				
	5	聴覚障害者の仕事	聴覚障害者の仕事について。		
			仕事、場所の手話を覚えよう。		
	6	聴覚障害者と コミュニケーション			
	7		聴覚障害者にもコミュニケーションの違いがある ことを理解しよう。		
期	8	身近な手話会話			
	9		趣味、スポーツなど身近な手話を覚えよう。		
	10				
期	11				
	12				

レポ ー ト			
前/後	回	課 題 内 容	締切日
前 半	1	手話単語	5/8
		手話についての基本知識	
後 半	2	手話単語	6/5
		手話の歴史と現状	
期			

2025年度

学 習 指 導 計 画 表

京都長尾谷高等学校

〔 科 目 名 : ネ イ ル 〕〔単位数：2単位〕〔使用教科書：オリジナルテキスト〕〔 使 用 副 読 本 : な し 〕

学 期	授業回	項 目	教 科 書		副読本
			内 容	ページ	ページ
前	1	・配布プリント ・シンプルシック デザイン	・自分の爪の型、表面を整えて爪先がきれいになる方法を学ぶ。 ・水玉、ハート柄、ラインストーンでアート		
	2				
	3	・デザイン バリエーション①	・細筆で絵具を使用して、ネイルアートに チャレンジ ・花柄、ハート、星柄など		
	4				
	5	・デザイン バリエーション②	・チェック模様、ストライプ柄のネイル アートにチャレンジ		
	6				
期	7	・デザイン バリエーション③	・アニマル柄にチャレンジ ・グラデーション ・フレンチマニキュア ・3Dアート		
	8				
	9				
	10				
	11				
	12				

レ ポ ー ト			
前/後	回	課 題 内 容	締切日
前 半	1	・自分がしてみたい、または誰かにしてあげたいと思うネイルアートの絵をデザインする。	5/8
後 半	2	・ネイルチップ5枚を使用して、ネイルアートする。	6/5

2025年度 学 習 指 導 計 画 表

京都長尾谷高等学校

〔科目名：ヘアカット入門〕〔単位数：2単位〕〔使用教科書：指導者作成教材〕〔使用副読本：なし〕

学 期	授業回	項目	教 科 書		副読本
			内 容	ページ	ページ
前 期	1		カットの道具の説明		
	2				
	3		コーミング・ブロッキング		
	4				
	5		グラデーション・レイヤーカット		
	6				
期	7		カラーリング・ヘアセット		
	8				
	9				
	10				
	11				
	12				

レポ ー ト			
前／後	回	課 題 内 容	締切日
前 半	1	カットについて カットに必要な道具 シザーズの動かし方	5/8
後 半	2	カットに欠かせない技術用 語 カット技法の基礎用語	6/5

2025年度 学 習 指 導 計 画 表

京都長尾谷高等学校

〔 科 目 名 : き も の 入 門 〕 〔 単 位 数 : 2 単 位 〕 〔 使 用 教 科 書 : 指 導 者 作 成 教 材 〕 〔 使 用 副 読 本 : な し 〕

学 期	授業回	項 目	教 科 書		副読本
			内 容	ページ	ページ
前 期	1	きものの基本講座	きものの種類		
			帯について		
	2		きものの名前		
			コーディネート		
	3	浴衣の基本着付	着装に必要な小物について		
			補正の仕方		
	4		浴衣の着方		
	5	浴衣の着付	浴衣の着方の復習		
	6				
	7	浴衣の着付	コーディネート実践		
			着てみたいものを自分に似合うように		
	8		コーディネート		
	9				
	10				
	11				
	12				

レ ポ ー ト			
前/後	回	課 題 内 容	締切日
前 半	1	きものの各部名称	5/8
		きものの種類と読み方・特徴	
		きものの着用時期	
後 半	2	帯の種類	6/5
		着用に必要な小物	
		着用後の手入れ	
		虫干しについて	

2025年度 学 習 指 導 計 画 表

京都長尾谷高等学校

〔 科 目 名 : 茶 道 - 裏 千 家 〕 〔 単 位 数 : 2 単 位 〕 〔 使 用 教 科 書 : は じ め て の 茶 道 〕 〔 使 用 副 読 本 : 指 導 者 作 成 教 材 〕

学 期	授業回	項 目	教 科 書		副読本
			内 容	ページ	ページ
前 期	1	茶道入門 1	割りげいこ 及び 盆略点前について		
	2	心得と点前 1	茶筌通し おじぎの仕方 盆の扱い 袱紗さばき 茶碗の扱い 棗の拭き方		
	3	茶道入門 2	千歳盆点前 (盆略点前の応用)		
	4	心得と点前 2	蓋の扱い 古帛紗の扱い		
	5	風炉点前 1	薄茶		
	6	風炉点前 1	建水 茶碗 茶杓の扱い		
	7	風炉点前 2	濃茶		
	8	風炉点前 2	柄杓 仕覆 帛紗の扱い		
	9				
	10				
	11				
	12				

レ ポ ー ト			
前/後	回	課 題 内 容	締切日
前 半	1	茶道の心「和敬清寂」 茶道の歴史 おじぎの仕方 立ち方・歩き方 茶道の道具 基本動作 盆略点前	5/8
後 半	2	濃茶・薄茶 主菓子・干菓子 茶箱 茶会の流れ 利休七則 床の間と茶道具	6/5

2025年度 学 習 指 導 計 画 表

京都長尾谷高等学校

〔科目名：就職活動支援講座〕〔単位数：2単位〕〔使用教科書：なし〕〔使用副読本：指導者作成テキスト〕

学期	授業回	項目	教科書		副読本
			内 容	ページ	ページ
前期	1	モチベーション	コミュニケーション基礎		
			先入観・固定観念からの脱却		
	2	自己分析	現在の社会状況、企業が求める人材像・能力		P4
			仕事の考え方		P5
	3	面接 社会人マナー	面接官の質問の意図		P6～7
			面接マナー		P8～P15
	4	面接 社会人マナー	面接官の質問の意図		P6～7
			面接マナー		P8～P15
	5	SPI紹介 SPI非言語分野	SPIの紹介		
			速さ・時間・距離		P16～19
	6	SPI紹介 SPI非言語分野	損益算		P20～23
			濃度算		P24～25
後期	7	SPI言語分野 SPI一般常識	SPIの紹介		P30～35
			二語関係、熟語		
	8	SPI言語分野 SPI一般常識	一般常識		P36～44
			時事問題		
	9				
	10				
	11				
	12				

レポ ー ト			
前／後	回	課 題 内 容	締切日
前半	1	現在の社会状況	5/8
		企業が求める人材（能力）	
		仕事の考え方	
		面接官の質問意図、モチベーション	
後半	2	SPIとは、速さ・時間・距離	6/5
		損益算、濃度算	
		二語関係、熟語	
		一般常識、時事問題	

2025年度

学 習 指 導 計 画 表

京都長尾谷高等学校

〔科目名：現代社会の諸問題〕〔単位数：2単位〕〔使用教科書：なし〕〔使用副読本：なし〕

学期	授業回	項目	教科書		副読本
			内 容	ページ	ページ
前期	1	感染症 I	基本事項		
			感染症の種類と歴史		
	2	感染症 II	人類と感性症の戦い		
			社会的影響		
	3	SDG s I	全体の基本事項		
			概要把握		
	4	SDG s II	個別事項の学習		
	5	裁判員制度と死刑制度	制度の背景と世論		
	6	領土問題	基本事項 北方領土 尖閣諸島 竹島		
			概要把握		
後期	7	食料問題	基本事項 /原因と現状		
			解決の方法		
	8	直近の時事問題	基本事項		
			概要把握		
	9				
	10				
	11				
	12				

レポ ー ト			
前／後	回	課 題 内 容	締切日
前 半	1	気候変動	5/8
		原因とその対策	
後 半	2	食品ロス	6/5
		原因と現状把握	
		対策について	